

唐釜

ハイキングコースを感じて歩く。



距離：約 1000 m
所要時間：約 40 分
植物お楽しみレベル



歴史お楽しみレベル



ハイキングレベル

(土の道が続くため歩きやすい)

登山道入り口：
七曲り登山道
東坂ハイキングコースから

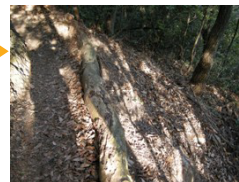
金華山の南側斜面を横断し、七曲り登山道と東坂ハイキングコースを接続するコース。斜面を横断するため起伏がなく平坦な道で、健康維持を目的とする方に人気のコースです。コース周辺の植物の様子は、ツブラジイやアラカシなど照葉樹林が多く見られ、コースに対して垂直に風の通り抜けるようになっていらく地面に対して斜めに成長している木々の姿が見ることができます。

COURSE GUIDE



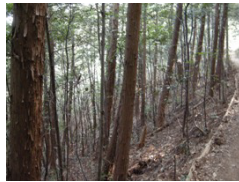
サカキの芽 ①

神棚のある家庭ではお馴染みのサカキですが、金華山は良く見かける木の1つです。サカキの特徴は、茎の先に付ける鳥の爪状のような芽です。この芽は、冬芽(とうが)といい、夏から秋に形成され越冬し春に葉になります。



イノシシの掘返し跡 ④

金華山全体でイノシシによる登山道の掘り返しが近年目立ってきています。唐釜コースでも登山道が、イノシシによって削られて広がっているところをボランティアの方たちによって補修されている箇所が何箇所も見られます。



風で曲がったヒノキ ⑤

唐釜ハイキングコースは風の通り道となっているため、ヒノキなどの木々が曲がって成長しているのを良くみかけます。中には、横に倒れている木から枝が伸ばしている木など、木の生命力には驚かされます。



入口と出口の温度差 ⑥

唐釜ハイキングコースの東坂側と七曲り側では、体でも感じられるほど温度差があります。冬になると七曲り登山道に來ると温度が急に下がり寒いことに気づきます。植物も山への日や風の当たり方の違いで成長の仕方が変わってきます。



アセビ ③

アセビを漢字で書くと馬酔木と書きます。アセビは葉に毒を持っているため、馬が葉を食べると酔ったように苦しむということからついた名前だと言われています。毒をもつアセビですが、春になると枝先に白いつぼ型の花をすずらん状にきれいにつけます。

くわしくは裏面へ

唐釜ハイキングコースの植物の移り変わり



唐釜ハイキングコースでは、金華山の南側斜を横断するため場所での植物の変化はそれほどありません。

しかし起伏が少なく、ボランティアの方々によってコースの補修がされているため歩きやすいため、金華山の代表的な植物であるツブラジイやアラカシ、サカキ、コシアブラなどの植物を観察を楽しむには非常に人気のコースとなっています。

唐釜ハイキングコースの周辺の森は、ツブラジイやアラカシなどの常緑広葉樹が広がるため暗く光のあまり入らなくなっています。植林されたヒノキも木と木の間隔が狭く、光が差さないことから細くやせているものが多くっており、下草もほとんど生えていません。

唐釜ハイキングコースは、金華山の風の通り道となっているらしく、ヒノキなどの多くの木が地面から斜めに成長している姿が確認できます。植物にとって過酷な環境ですが、そこからは必死に成長をしている姿が木々から感じられます。

サカキ、コシアブラ、アセビの見分け方

金華山の代表的な植物であるサカキ、コシアブラ、アセビを見つけてみましょう。

サカキは、葉っぱを確認してみましょう。サカキの葉は濃い緑色で、表面に光沢があり、葉のふちがギザギザしていないのが特徴です。青々として葉を1年中つける常緑樹です。また表で書いたように、茎先にツメ状にとがった芽が見分けるポイントです。

コシアブラは樹の樹皮が白っぽく、小葉は5枚くっついてつけます。また落葉樹であるため、時期になると登山道に葉を落とします。

アセビは、3、4月につける白かピンク色のつぼ状の花をたらすように多くつけるのが特徴的です。葉は濃い緑色で表面につやがあり、枝先につくのも特徴です。1年中青々とした葉をつけます。



＜サカキの葉＞



＜アセビの葉＞



登山道補修風景

広がるイノシシによる金華山の掘り返し

最近金華山では、イノシシによる登山道の掘り返しを多く目にします。イノシシは、鼻とキバでうまく使い土を掘り返し草や樹の根、ミミズなどを食べています。この掘り返しによって登山道は、削られ狭くなってしまうということが起こっています。その掘り返しが起こるたびにボランティアの方々が補修を行ってくれています。イノシシの頭数が多いため追いついていないのが現状です。

ヒノキはY？

ヒノキはゴジラの尻尾のような葉をつけます。ヒノキの葉の特徴は、葉の裏にY字状の白い模様が見られます。これにより葉の形が良く似ているサワラなどを見分けることができます。

このY字の模様は、気孔帯（きこうたい）といって空気の出入り口となる気孔がたくさん並んでいるところです。



＜ヒノキの葉＞